

伊豆八十八札所巡礼報告書

報告者 後藤隆徳

年月日 2013年03月14日(木)午前＝小雨・超強風、午後＝曇・風なし

回数 2011期・22回、2012期・11回

巡礼寺・順 なし

距離 戸田・大行寺～戸田峠～修善寺・北又集落＝約16Km

タイム 下土狩7:20－三島－修善寺－戸田峠－戸田・大行寺発9:20－戸田峠
12:30～13:30－修善寺・北又集落15:20

温泉 伊豆長岡「めおとの湯」500－(割引き)

伊豆八十八札所巡礼には、三つの難所がある。四国流に言えば「遍路ころがし」と呼ぶ。一番は「箱根越え」。三島を朝出発し二十一番・龍澤寺から二十二番・宗福寺を経て、函南原生林を通過し二十三番・東光寺までの道。

三島広小路の標高は約50m、東光寺の標高は約750m。その標高差は約700mだが、ここの道は長く圧倒的な厳しさがある。

二番は今回の「戸田峠越え」。戸田・大行寺の標高はほぼ0m。ここから標高約720mの戸田峠を越えて修善寺に至る。ここは箱根より標高差は少し多いが、道は急激に上り短い。その分、箱根に比べれば負荷は少ないと言える。

そんな事を考えながらバスの人となり戸田峠を越えて大行寺着。今日は生憎の天気朝からカッパを着た。大行寺から戸田大川を遡る。

ここは今回を含め5回越えている。(前回まで平日・休日2回巡礼のため)5回で悪天候は2回。ここの通過は春だから案外、天候が不安定なのだ。上るに従って風が強くなる。戸田港から峠に向かってモーレツな風が吹き上がる。今年はとにかく風が強い日が多い。





写真3枚

2009年



戸田大川の裏から県道に出る。この辺りから本格的な上りが始まる。とにかくここは我慢で上るしかない。峠まで約3時間掛る。適当に休憩し歩くが辛くなればバスのお世話になる。でも皆さん、バスの世話にならず頑張って歩く。「満願成就結願」に向けて「生みの苦しみ」だ。

それでも少しずつだが高度を上げて戸田湾が見渡せる程になった。道路周辺には桜がチラホラ咲いていた。香花の開花が見る事が出来て、それなりに楽しい。中には崖下にバイクが落ちていた。

瞥女（ごぜ）展望台に到着。ここまで来れば峠は近い。風は相変わらずだった。時々、体が持っていられるくらいの風だった。

それでも何とか峠に着いた。皆さんよく頑張った。いつもそうだが、不思議なもので、峠を越えると風はピツパリなくなる。まるで嘘のようだ。

「だるま山レストハウス」に下りここで昼食。バスが暖かく有難い。皆さん、ここで英気を養い午後に向かった。



瞽女（ごぜ）展望台



2009年
戸田峠バス停

ここから修善寺まで下り。やっぱり下りは楽だ。すぐ下の伊豆山稜線歩道の芝生道を下り、途中から修善寺・北又集落に向かう。ここは牧歌的で解放感溢れる桃源郷だった。この時期、シイタケ栽培が盛ん。

先に行ってしまった会員もいたが、私を含む「転んでもタダで起きない」人達は「シイタケはないかと」キョロキョロ。見ればおバアさまが選別作業をしていた。傍らにはシイタケの入ったケースがあった。すこし話をすると、それを「持って行け」と言う。しかも、無料で・・・。

このシイタケは、形が不揃いだったり・色が悪かったり、売り物にならないものだが、家庭食べるには全く問題はない。

「やった」と内心ほくそ笑んで、あらかじめ用意したコンビニ袋にワラワラと押し込んだ。ケースは全部で12あったが、全部・全て・完全になくなった。しかし、これが無料では、余りにも「良心がとがめる」(?!)。一人300円集め置いて来た。翌日、刻んで軽く干して冷凍保存した。これで一年はOKだ。今年もイイ思いをして良かった。(笑)



シイタケ農家の方（2013）



おなじ方みたい??!!（2009）



見事な桜



だるま山
レストハウス